平成２９年　今後の予定

宝物風入れ展
囲炉裏カフェ

拝観料
500円

10月8日（日）、9日（月祝）
午前9時～午後3時

国指定重要文化財の普応国師坐像をはじめ、栖雲寺の寺宝を一挙公開。庫裏（県文化財）にある囲炉裏では、住職手作りの精進菓子をお召し上がりいただきます。時間のゆるす限り、和尚と楽しくお話ししながらどうぞごゆっくりとお過ごしください。

蕎麦切り奉納
第2回 天目山茶会

11月12日（日）　午前9時～午後3時　御香料 700円

午前10時から本堂に於いて蕎麦切り奉納の儀。奉納された蕎麦切りは、茹でて参拝者に振る舞われます。収穫されたばかりの実で打った鮮やかな緑色の新蕎麦をぜひご賞味ください。同時にお茶会も開催します。鎌倉にある大本山建長寺の代名詞「巨福」でアットホームな茶会をごゆっくりお楽しみください。　※先着100名様

その他の主な予定

新潟歴史博物館企画展に「鉄製軍配」展示　9月16日～10月5日
九州国立博物館特別展に「十字架捧持マニ像」展示　10月14日～11月12日
山門大施餓鬼会　10月9日　建長寺吉田管長墨跡展開催中　11月12日まで

栖雲寺たより

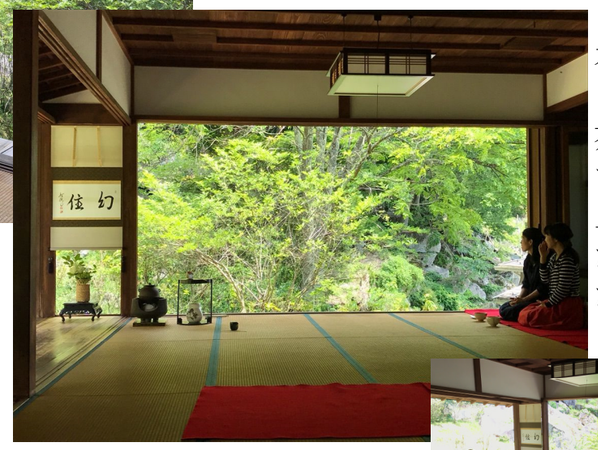
天　目

第２４号
発行日
平成２９年９月１日

第1回　天目山茶会

平成２９年６月１７日

記念すべき第１回のお茶会が開催されました。拙僧が席主をつとめ、お点前は地元大和町のお茶人さんにお願いし、境内の石庭会館を「幻住」の茶室に見立ててお召し上がりいただきました。



天候にも恵まれ、おかげ様で、約１００名と大盛況、成功裏に茶会を終えることができました。

栖雲寺に初めて来た方は、「山梨にこんな素晴らしい所があったなんて今まで知りませんでした。」と皆様感動しながらお茶を楽しみ、お帰りいただいたようです。天目山住職といたしましても感無量でございます。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。いたらぬ点、また無礼の数々はどうぞお許しください。

待合は庫裏の囲炉裏と火鉢で。

本堂では建長寺吉田管長様の30周年記念墨跡展。

臨済宗建長寺派　天目山 栖雲寺　住職　青柳真元
〒409-1201　山梨県甲州市大和町木賊122　TEL　0553-48-2797
http://www.tenmokusan.or.jp［栖雲寺］で検索　ブログ毎日更新

どの方向を探しても　自分より愛しいものはない
そのように他の人々にとっても自己は愛しいものである
それ故　自分のために他人を害してはならない

これはお釈迦様のおことばです。

「あいつは自分大好き人間だ」「あの人は自己中心的だ」悪口で使われることが多いですが、そう言っている自分自身はどうですか？その度合いは違ってもみんな自分自身が愛おしく、そして自己中心的です。無論私自身も例外ではありません。自分を中心に考え、他の生物の命を犠牲にしてまで最愛の自分を大切に育てて来たからこそ今の命と生活があるわけで、その命を守り抜いてきたからこそ、地球上で人類がここまで繁栄してきたとも言えます。

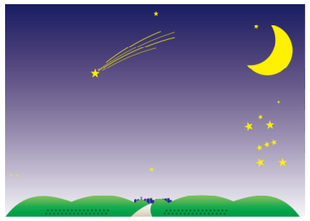
２５００年前、ある国の王様が真剣に考えました。さて自分はいったい誰を一番愛しているのだろうと。熟考の末、それは国民でも愛する妻でもなく自分自身だということに気が付きます。そのことを妻に正直に打ち明けると、妻からもやはり「私も自分が一番愛おしいです。」と同じ答えが返ってきました。二人はお釈迦様のもとに相談に行きます。「一国を治める王としてこの考え方は間違いなのでしょうか？」と。するとお釈迦様からは意外にも「当たり前のことに気が付いたんですね。人間はみなそうなのですよ。」そして最初の「どの方向を探しても・・・・」のことばが返ってきたのです。「それがわかったのなら国民の気持ちもよく考えて政治をしてください。」こう諭されると、王様はその後立派に国を治めました。この話しから『自分が一番愛しい』『自己中心的』であることは２５００年もの昔にお釈迦様も認めたことであります。お釈迦様でもそうだったと聞くとなんだかホッとしますよね。ただ大事なのはその後で、他の人もそうであるから害してはならないというところでしょう。

自分を愛する自己中心的な７０億人もの人間がこの地球上で生活をしていることになります。当然そこには争いが起きます。主張の違い、価値観の違い、些細なことで口論になり、気に入らない人は排除する。人と比較して足りないものがあれば奪い取る、領土や資源獲得のために戦争を始める、といった血なまぐさいことも起こります。そして結果的に、そのことで人々は悩み苦しみます。天上天下唯我独尊（この世のみんながそれぞれで輝いていて尊い）であることには気づく余裕もありません。自分のことが一番大切ならば、目の前にいる人もやはり同じく自分のことが一番大切。その真理をさとり、自己中心すぎる心にはブレーキをかけ、相手の気持ちを思いやる心へとハンドルをきり、仏心に目覚めなければなりません。

人は悩み・苦しみます。時に妄想し迷います。その気持ちを取り除くのは慈悲の心であるとお釈迦様は言われました。慈悲とは抜苦与楽、相手の苦しみを取り除き、相手に楽しみを与える気持ちのことです。相手の心に寄り添い、思いやりの心で接し、笑顔を作ってあげる事であると仏教では教えます。「忖度（そんたく）」という言葉が国会などでは悪い意味で出回りましたが、忖度はあってしかるべき、相手の気持ちを推し量り、困っている時は助け合おう、そしてみんなで幸せになろうということです。

自分の蒔いた種で人が笑顔になる、注いだ水で人が幸せになる。その芽は自分の心の中で花を咲かせ、いつしか苦しみを和らげてくれる。花が散ったらまた種を蒔けばいい。もちろん完璧なんてありえません。でもそんな慈悲の心に気づき実践する善因が自分を変えてくれる善果へと結びつく。そう示してくださったお釈迦様の教えが私たちの心の拠り所であって、大誓願でもあります。

夜空に流れ星を見つけたら、欲張った無茶な願い事はこらえて、自分以外の誰かの幸せ、世界中のみんなの幸せをお願いできたら素敵ですね。お釈迦様はそんな願いをお持ちだった方です。悩み・苦しみ・悲しみが多い世の中ですが、まずは最愛の自分が幸せになることは大切なこと。そして他がために・・・・・。



笑顔は伝染します。人に対して親切に謙虚になっていきましょう。

住職　　青柳真元

長男が得度

龍王殿で僧名をいただく

得度とは僧侶になること。今春、鎌倉の大本山建長寺に於いて集団得度式が行われました。この儀式では、剃髪し戒を守ることを誓い僧名をいただきます。小学１年生だった長男の悠真（ゆうしん）も参加して管長様から戒を授けていただきました。

お小僧さんとなり、春の彼岸諷経廻りや夏のお盆棚経廻りなどで檀家様のお宅にもお邪魔させていただきました。また、７月の建長寺開山忌にも沙弥（しゃみ＝戒を授かった少年僧）として法要に出頭いたしました。

まだヨチヨチ歩きの雛僧です。一人前の僧侶となれますよう、今後とも皆様方のご指導ご法愛を賜りたく、師僧として、また父として切にお願い申し上げます。今後も盆や彼岸の諷経には雛僧教育で、各檀家様のお宅に連れて行くこともございます。下手なお経ではございますが、毎晩読んで練習を重ねておりますので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

建長寺開山忌の巡堂
管長様の直前を歩く

ホンダのジャイロ

中古の三輪バイクを購入しました。よく街中でピザ屋さんが乗ってるバイクです。荷物もたくさん載りますし、多少の雨ならへっちゃら。おかげ様でお盆の棚経廻りなどで重宝しております。

ヘルメットをかぶらずに乗り回していると、
「こらー！おしょーヘルメットかぶれー！」
と何人もの檀家様から怒られましたがどうぞご心配なく。ちょっと改造してあり、原付ではなくてミニカーの登録にしたので違法ではありません。速度も標識通りで走れます。